



左から受賞した五十嵐、堂本、生島の3氏

犯罪・非行の防止に貢献

堂本元知事ら受賞

作田明賞 「福祉につなぐ」評価

犯罪・非行の防止などに貢献した個人・団体を表彰する作田明賞の第8回授賞式が8月

26日、都内で行われた。受賞者3人はいずれも受刑者や刑務所出所者を福祉につなぐことに尽力した点が評価された。

最優秀賞の堂本暁子・元千葉県知事は女子刑務所の処遇改善に関する研究会を立ち上げ、社会福祉協議会な

どが企画する法務省のモデル事業をけん引したことが評価された。

五十嵐弘志・NPO法人マザーハウス理事長（東京都）は優秀賞を受賞。自身が計20年

院教授（元保護観察官）は非行少年の立ち直りの手段としての家族を研究。知的障害者への「窃盗更生支援プログラム」も開発している。

賞は精神科医・犯罪学者の作田明氏が2010年に創設。現在は作田明記念財団（作田美緒子・代表理事）が主催し、江田五月・元

活動を展開している。また、刑務所出所者の住まい確保や生活保護申請も支援する。

同じく優秀賞の生島浩・福島大学

活動を展開している。また、刑務所出所者の住まい確保や生活保護申請も支援する。

同じく優秀賞の生島浩・福島大学

活動を展開している。また、刑務所出所者の住まい確保や生活保護申請も支援する。

活動を展開している。また、刑務所出所者の住まい確保や生活保護申請も支援する。

同じく優秀賞の生島浩・福島大学

活動を展開している。また、刑務所出所者の住まい確保や生活保護申請も支援する。

（福田敏克）